

## 入札時における過去の無効事例等について

入札に際し、近年、初歩的なミスにより無効や失格となる事例が発生しております。

については、注意を要する項目として、代表的なものをお示ししますので入札にあたっては、ご留意願います。

※本様式は、入札参加希望者の自己点検用ですので、提出する必要はありません！

番号	項目	確認
1	入札参加資格確認票，工事費内訳書等に記載の日付，住所，企業名，代表者名，宛名に誤りや記載漏れがないか。 (例) ○ 企業名の記載がない。 ○ 一般競争入札参加資格申請書において，JV名の記載誤りがあった。	
2	入札参加資格確認票，工事費内訳書等の工事名，路線名等，工事箇所に誤りや記載漏れがないか。 (例) ○ 別の工事名が記載されている。	
3	入札参加資格確認票，工事費内訳書において，指定のファイル形式で作成するとともに，異なるファイルを添付していないか。 (例) ○ 工事費内訳書がPDF形式で提出された。 ○ 入札参加資格確認票がtext形式で提出された。	
4	工事費内訳書の合計額は入札額と一致しているか。また，違算や計上漏れはないか。 (例) ○ どの項目にも金額の記載がない。 ○ 数値の代わりに文字が入力されている。	
5	ICカードについて適正な使用ができていないか。 (例) ○ 代表者等が変更になっているにもかかわらず，変更前ICカードを使用。	

入札にあたっては入札公告，共通事項等を十分に確認してください！